

## 果樹カメムシ類の防除の徹底について (カンキツ、カキ、ブドウ、キウイフルーツ、オリーブ等)

### 1. 発生状況(予察灯誘殺状況)

(1) 府中果樹研究所(坂出市府中町)の予察灯において、7月11日～15日のカメムシ類(主要4種:チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ、アオクサカメムシ)の誘殺数は、平年の6.9倍(本年:1,587頭、平年:230.1頭)であった(第1図)。

農業試験場(綾歌郡綾川町)の予察灯において、7月11日～15日のカメムシ類(主要4種:チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ、アオクサカメムシ)の誘殺数は、平年の2.3倍(本年:653頭、平年:280.9頭)であった(第2図)。

小豆オリーブ研究所(小豆郡小豆島町)の予察灯において、7月11日～15日のカメムシ類(主要4種:チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ、アオクサカメムシ)の誘殺数は、平年の48.6倍(本年:306頭、平年:6.3頭)であった(第3図)。

### 2. 今後の発生予想

(1) スギ・ヒノキの花粉飛散量が多い年は球果の結実量が多いとされているが、本年の花粉飛散量は昨年と比べ少なかった。また、県内5か所のヒノキ球果結実量調査の結果、結実量は極少であった。球果の結実量が極少の場合、果樹カメムシ類当年世代の発生量も極少とされており、本年の当年世代の発生量は少なくなると予想される(第4図)。

#### (2) 越冬世代

県内のヒノキの球果量が少なく、越冬世代数が多いため、7月中は餌を探しに果樹園へ多く飛来するおそれがある。

#### 当年世代(第1、第2世代)

例年では7月下旬から当年第1世代が成虫となり、その多くがスギ・ヒノキに寄生する。本年度のヒノキからの離脱については、球果結実量が少ないため、例年より早まり、8月上旬以降果樹園へ多く飛来するおそれがある。第1世代以降の成虫数は餌となる球果の結実量が少ないため、例年より少なくなると考えられる。

### 3. 防除対策

(1) ブドウの有袋栽培では、できるだけ早く袋掛けを行う。また、袋掛けを行う際は、袋と果実が密着していると、袋上からカメムシが吸汁することがあるため、極力袋と果実に隙間ができるように袋掛けを行う。

(2) 施設栽培の場合は、開放口をネット(4mm目合い)で覆うとカメムシ類の侵入防止対策となる。

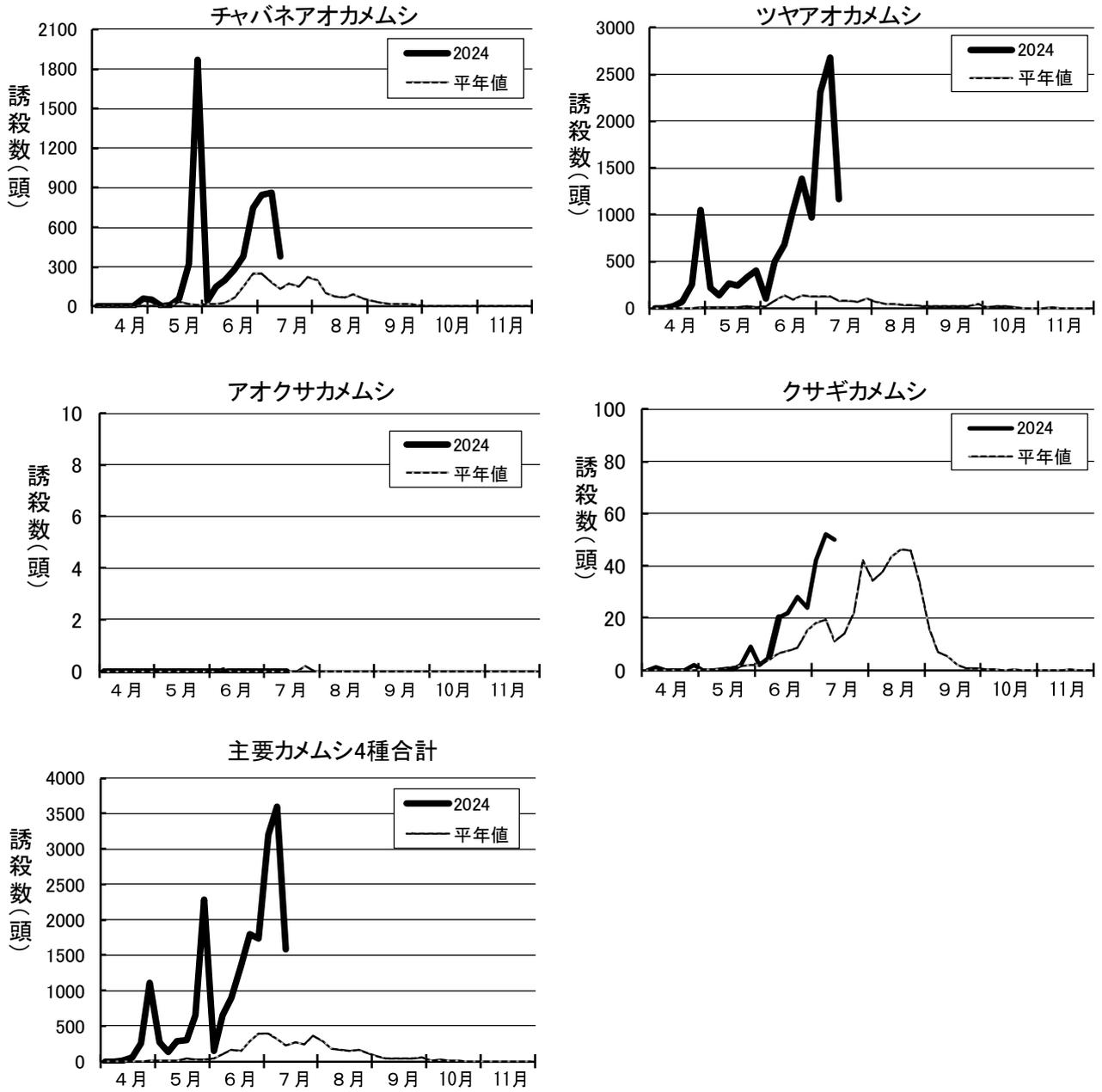
(3) 圃場内をよく観察し、被害果実(写真1、2)やカメムシ類の発生が見られる場合は、早急に防除を実施する。特にスギ、ヒノキが周辺に多い圃場や、過去に被害が認められた圃場では注意する。

(4) 多発してからの防除は効果が劣る場合があるので、発生初期の防除を徹底する。

- (5) 成虫は夕方に飛来し夜間加害するので、薬剤散布は夕方に広域かつ一斉に行うと効果的である。
- (6) 防除薬剤は、主要作物病害虫・雑草防除指針（表1）、香川県監修の果樹病害虫防除暦を参考にする。
- (7) 薬剤の選定にあたっては、剤の性質によって使い分けが好ましい。  
有機リン剤は、殺虫効果は高いが、残効が短い。  
合成ピレスロイド系剤は、殺虫効果と吸汁阻害効果に優れ、残効も1週間以上ある。  
ただし、天敵への影響が強く、ハダニやアブラムシのリサージェンスを引き起こす場合があるので注意する。  
ネオニコチノイド剤は、吸汁阻害効果の残効は比較的長いものが多いが、殺虫効果や降雨の影響は、剤により違いがあるので、特性に留意して使用する。
- (8) 黄色蛍光灯は、チャバネアオカメムシには忌避効果があるが、ほかのカメムシ類には効果がないので注意する。

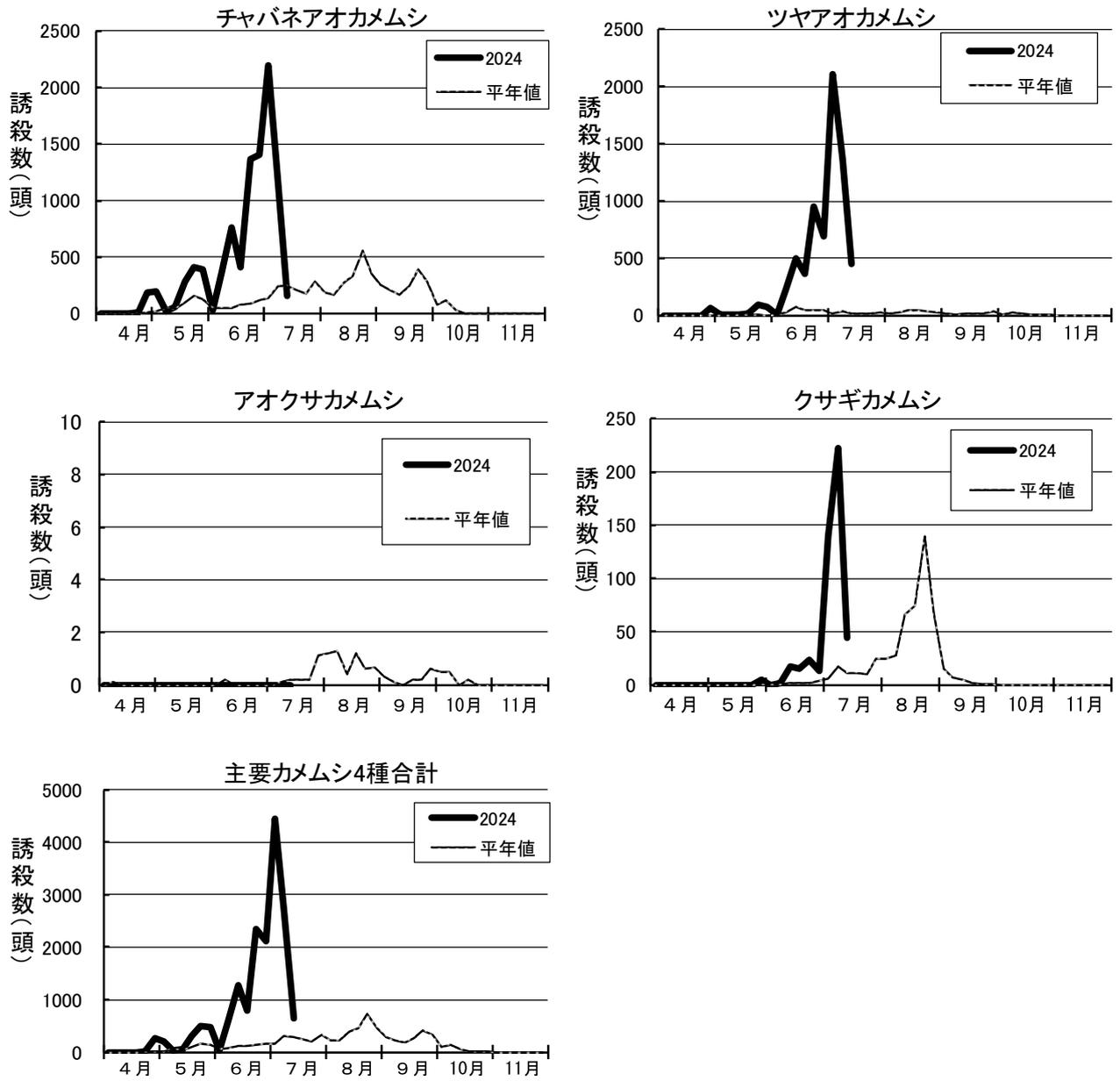
参考文献) 植物防疫 第68巻 第7号(2014)

カメムシ類半旬別誘殺数(県予察圃場予察灯、坂出市・府中果樹研究所)



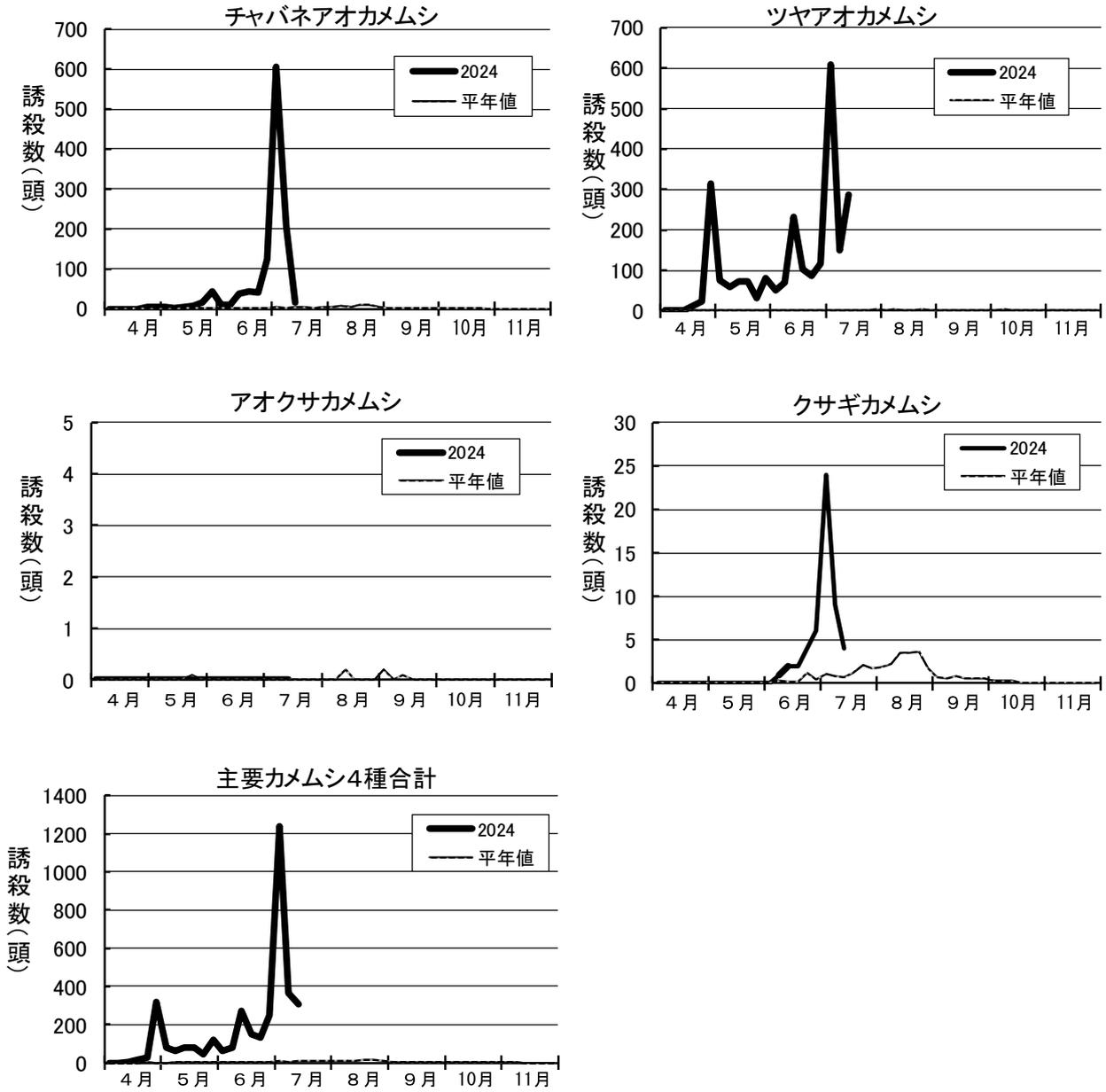
第1図 府中果樹研究所(坂出市府中町)の予察灯における果樹カメムシ類の誘殺状況

カメムシ類半旬別誘殺数(農業試験場予察灯)

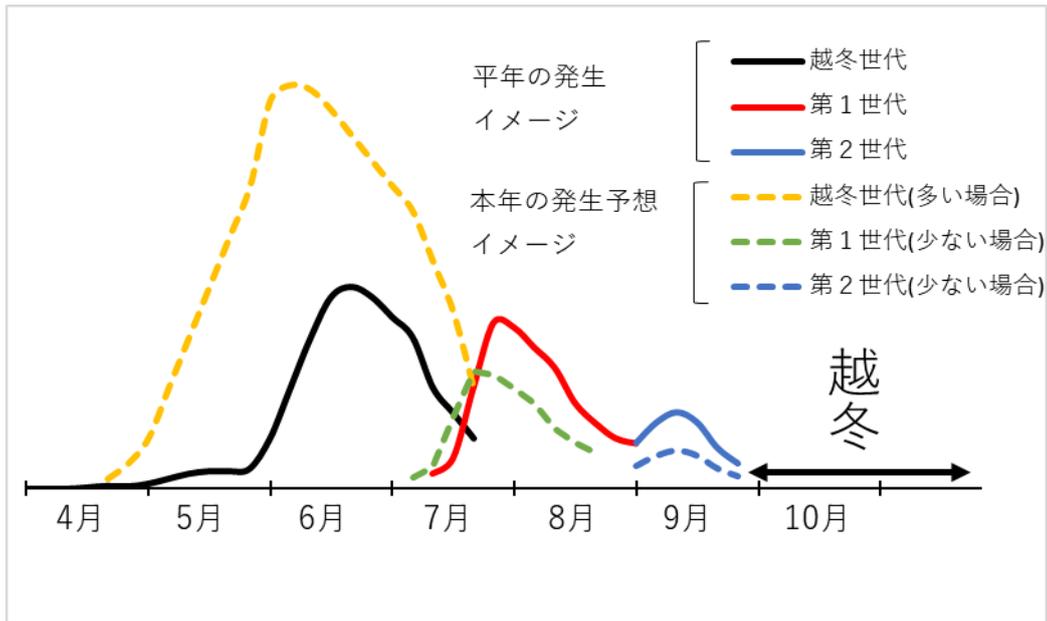


第2図 農業試験場(綾歌郡綾川町)の予察灯における果樹カメムシ類の誘殺状況

カメムシ類半旬別誘殺数(農業試験場小豆オリーブ研究所60W白熱電球予察灯)



第3図 小豆オリーブ研究所(小豆郡小豆島町)の予察灯における果樹カメムシ類の誘殺状況



第4図 果樹カメムシ成虫発生消長のイメージ図



写真1 カメムシによるカンキツ被害果実



写真2 7月にカメムシに吸汁されたカキ果実

表1 カンキツ、カキ、ブドウ、キウイフルーツ、オリーブに登録のある薬剤(主要作物病害虫・雑草防除指針抜粋)

作物名	薬剤名	薬剤の系統	RACコード	薬剤使用の特記事項
カンキツ	スミチオン乳剤	有機リン系	1B	
	エルサン乳剤		1B	
	エルサン粉剤3DL		1B	
	アグロスリン乳剤	合成ピレスロイド系	3A	ピレスロイド系剤(RACコード3A)の注意事項 ・蚕毒が特に強いので注意する。 ・散布後、ハダニ類が増えることがあるので注意する。
	サイハロン水和剤		3A	
	ロディー乳剤		3A	
	テルスター水和剤		3A	
	テルスターフロアブル		3A	
	マブリック水和剤20		3A	
	マブリックEW		3A	
	アドマイヤーフロアブル	ネオニコチノイド系	4A	
	アドマイヤー顆粒水和剤		4A	
	アクタラ顆粒水溶剤		4A	
	ダントツ水溶剤		4A	
アルバリン顆粒水溶剤	4A			
スタークル顆粒水溶剤	4A			
モスピランSL液剤	4A			
(混)スミロディー乳剤		3A・1B		
カキ	スミチオン水和剤40	有機リン系	1B	
	アディオオン乳剤	合成ピレスロイド系	3A	ピレスロイド系剤(RACコード3A)の注意事項 ・蚕毒が特に強いので注意する。 ・散布後、ハダニ類が増えることがあるので注意する。
	アーデント水和剤		3A	
	アーデントフロアブル		3A	
	アグロスリン水和剤		3A	
	スカウトフロアブル		3A	
	ロディー水和剤		3A	
	テルスター水和剤		3A	
	テルスターフロアブル		3A	
	マブリック水和剤20		3A	
	トレボン水和剤		3A	
	アークリン水和剤	3A		
	アディオオンフロアブル	3A		
	アドマイヤー水和剤	ネオニコチノイド系	4A	
アドマイヤー顆粒水和剤	4A			
アクタラ顆粒水溶剤	4A			

	ダントツ水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 モスピラン顆粒水溶剤		4A 4A 4A 4A	
	(混)パーマチオン水和剤 (混)キックオフ顆粒水和剤		3A・1B 28・4A	
ブドウ	ダントツ水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤	ネオニコチノイド系	4A 4A 4A	
キウイフルーツ	アディオン乳剤 アグロスリン乳剤 テルスターフロアブル	合成ピレスロイド系	3A 3A 3A	ピレスロイド系剤(RACコード3A)の注意事項 ・ 蚕毒が特に強いので注意する。 ・ 散布後、ハダニ類が増えることがあるので注意する。
	アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 ダントツ水溶剤 アドマイヤーフロアブル	ネオニコチノイド系	4A 4A 4A 4A	
オリーブ	アディオン水和剤	合成ピレスロイド系	3A	ピレスロイド系剤(RACコード3A)の注意事項 ・ 蚕毒が特に強いので注意する。 ・ 散布後、ハダニ類が増えることがあるので注意する。
	ダントツ水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤 モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイド系	4A 4A 4A 4A	

・ 住宅地等に接した地域及び広範囲に防除する場合は、散布する前に付近住民などに周知するとともに、飛散しにくい農薬を使用するようにしましょう。

・ 農薬散布は、無風又は風が弱いときに行うなど、近隣に影響が少ない天候の日や時間帯を選び、風向き、ノズルの向き等に注意して飛散防止を心がけましょう。

農薬はラベルをよく読んで使用しましょう

病害虫防除所インターネットホームページ

URL: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/byogaichubojou/index.html>

